

JFA 第 46 回全日本 U-12 サッカー選手権大会佐賀県大会 要 項

- 1 主 催 (公財)日本サッカー協会, (公財)日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団, 読売新聞社,
(一社)佐賀県サッカー協会
- 2 主 管 (一社)佐賀県サッカー協会第4種委員会
- 3 後 援 報知新聞社, (公財)佐賀県スポーツ協会
- 4 協 賛 YKK, 花王, 日清オイリオグループ, ゼビオ, 日本マクドナルド
- 5 期 日 2022年 10月 15日(土) 監督会議・組合せ抽選
10月 23日(日) 予選グループステージ
10月 30日(日) //
11月 6日(日) //
11月 13日(日) 決勝トーナメント1～2回戦
11月 20日(日) // 準決勝, 決勝
- 6 会 場 予選グループステージ 県内各地域グラウンド
※各地区 U-12 リーグの結果から 16 チームをシードし, 会場準備を
依頼(シードチームの選出方法については別項に記載)
決勝トーナメント 1～2回戦 佐賀市健康運動センターサッカーラグビー場
準決勝, 決勝 西多久多目的運動広場
- 7 参加資格 (1) 「参加チーム」は, 2022 年度日本サッカー協会に第4種で加盟登録されたチーム(以下「加盟チーム」)であり, 2022 年度 U-12 サッカーリーグ in 佐賀に参加していること。ただし, 新型コロナウイルス感染症対応の影響により, 所属するリーグが開催されない場合, 本項を適用外とする。
(2) 参加選手は, 上記「加盟チーム」に所属登録された(選手証を有する)選手であること。
(4年生以上を原則とする)
(3) 「参加チーム」の選手構成は, 単一「加盟チーム」内に限られ, その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。ただし, この「加盟チーム」をいくつかの「参加チーム」に分けても, 以下の要件を満たせば, それぞれに参加資格が与えられるものとする。

「参加チーム」および選手についての附則説明

チームおよび選手の本大会への登録は, 原則として 2022 年度 U-12 サッカーリーグの参加チームおよび選手と同じ構成とするが, 同一「加盟チーム」の選手に限り, 変更や補充を行うことができる。また, 同一「加盟チーム」が複数に分かれてリーグ戦に参加していたものが統合して登録することはできるが, リーグ戦参加チームが複数に分かれて登録することは認められない。

- (4) 「参加チーム」には, チームを常時指導している責任ある指導者(D級コーチ以上の有資格指導者)がいること。
(5) チームに審判資格を有する審判員が帯同できること。
(6) 「参加チーム」は, スポーツ障害保険に加入済みの者で構成されていること。
(7) 参加選手は, 試合に耐えうる健康体であり, 且つ保護者の同意を得ること。
(8) 都道府県大会から決勝大会に至るまでに, 同一参加選手が異なる「加盟チーム」への移籍後, 再び参加することはできない。同一「加盟チーム」が複数に分かれて登録した場合も同様とし, 大会期間中の選手の移籍は認められない。

移籍についての附則説明

全国大会出場権を得た「参加チーム」は, 原則として同じ構成で出場するが, 傷病で出場できない等の理由で人数が全国大会エントリー数 16 名に満たない場合, 同一「加盟チーム」の選手に限り補充することができる。

- 8 チーム編成 指導者 5名以内（監督、コーチ等）
 ※試合ごとにベンチ入りできる指導者は3名以内とする。その内1名以上は、日本サッカー協会が公認する資格保有者（D級以上）であることを原則とする。決勝大会においては、資格の保有および有効期限を証明するものを提示しなければならないものとする。
- 選手 20名以内
 ※試合ごとに出場できる選手は16名以内とする。但し、登録している選手全員のベンチ入りを認める。
- 9 競技規則 2022/2023（公財）日本サッカー協会競技規則およびJFA 8人制競技規則に基づく。2022年度途中での改正ルールについては、本大会においても適用するものとする。また、以下の項目については特に本大会規定を定める。
- (1) 競技者は8人（内1名はGK）とする。
 - (2) 競技場の広さは次の通りとする。
 縦68m、横50m、ペナルティエリア12m、ゴールエリア4m、PK 8m
 センターサークル7m、ゴールは少年用ゴール（2.15m×5m）
 - (3) ユニフォームは、正副2色を会場へ持参のこと。
 - (4) 本大会の異なる試合において警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
 - (5) 本大会において、退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。また、退場を命じられた場合、その選手のチームは交代要員の中から補充することができる。
 - (6) 試合成立の最低人員は6名とする（5名以下となった場合は不成立）。試合途中を含め、最低人員を下回る状況が生じた場合の対応は次の通りとする。
 [リーグ戦の場合]
 そのチームの0-5での不戦敗として成績を処理する。成立しない試合が2試合以上となった場合は、そのチームとの対戦成績すべてをリーグの順位決定に採用しない。
 [トーナメント戦の場合]
 そのチームの不戦敗とする。
 - (7) 審判は、主審1名、副審2名（準決勝・決勝戦については第4審を加える）とする。
- 10 試合方法 (1) 参加全チームを16パートに分け、予選グループステージを行う。組合せ抽選では、2022年度開催の各地区U-12リーグの成績から上位16チームを選出しシードする。シードチームは、各パートの試合運営の責任者となる。 ※シードチームの選出方法は次項に記載
- <予選グループステージ>
- ① 試合時間は40分とする。
 - ② リーグ戦は、勝点を勝ち3点、分け1点、負け0点とし、順位は、①勝点②当該チーム間の対戦成績③当該チーム間の得失点差④当該チーム間の総得点数⑤グループ内での得失点差⑥グループ内での総得点数⑦抽選の順で決定する。
- (2) 予選グループステージ各パート1位の代表16チームによるトーナメント方式で代表を決定する。
- <決勝トーナメント>
- ① 予選グループステージ各パートの1位が進出する。
 - ② 試合時間は40分とし、勝敗が決しない場合はPK方式（3人）により上位進出チームを決定する。但し、決勝戦のみ10分間の延長を行い、なおも決しない場合はPK方式で決定する。
 - ③ 試合球は、モルテン4号級を使用し、大会本部で準備する。
- (3) 選手の交代については次の通りとする。
- ① 試合ごとに指定する交代要員は8名までとし、自由な交代ができる。（リエントリーを可とする。）
 - ② 交代の手続きは、主審、副審の許可を得ず、インプレー、アウトオブプレーいずれの場合も交代ゾーンにおいて交代できる。ただし、交代者が外に出てから交代選手は入る。
 - ③ 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上で、どこからでもフィールドを離れることができる。
 - ④ ゴールキーパーが交代にかかわる場合は、主審に告げ、アウトオブプレーの時に交代を行う。退くGKは、一番近いラインから出なければならない。

11 シードチームの選出

- (1) 2022年度開催の「U-12 サッカーリーグ in 佐賀」における、各地区リーグの上位から4チーム（合計16チーム）をシードチームとして選出する。
- (2) シードチームは、本大会の予選グループステージの会場確保や試合運営を行うことができるチームとする。
- (3) 各地区リーグにおいて、シードチームを10月9日までに決定しておく。

12 監督会議、組み合わせ抽選会 **※今年度も、選手参加の開会式は開催しないものとする。**

I 日時	2022年10月15日(土) 14:30～(時間厳守) ※詳細については別紙案内参照のこと。
II 会場	ドゥイング三日月 視聴覚室 小城市三日月町長神田1854 TEL0952-72-1616

13 申し込み 下記アドレスへ、所定の申込用紙に必要事項を記入の上、メールにて申し込むこと。

大会事務局 古城 武史 (問い合わせ)

★各チームの代表者の方にお知らせしています。

★締め切り 2022年10月7日(金) 必着厳守

14 参加料 1チーム 6,000円 ★締め切り 参加申し込み締め切りと同日 決勝トーナメント出場チームは さらに4,000円 ★11月11日(金)までに

下記口座に振込で納入すること。必ず摘要にチーム名を記入してください。なお、振り込み手数料は、チームで負担してください。(※振込口座をお間違えなく)

<振込先> 佐賀県サッカー協会第4種委員会 代表 稲富 修
★各チームの代表者の方にお知らせしています。

15 新型コロナウイルス感染症対策

本大会の全日程は、以下の感染防止対策を行った上で実施していくものとする。また、これらの対策については、選手の保護者等にも周知し、徹底を図るものとする。

- (1) 選手および指導者、大会運営スタッフは、大会事務局が配布（佐賀県サッカー協会HPからダウンロード）する「健康チェックシート・同意書」に健康状態等を記入し、会場の運営責任者に提出する。少しでも体調に異変を感じたら、大会には参加しない。
※提出された「健康チェックシート・同意書」は、大会事務局で厳正な管理のもとに保管し、試合から1か月を経過した時点で責任をもって処分することとする。
※予選グループステージにおいても、提出を義務付けるものとする。シードチームは、管理責任者を定め、大会事務局が回収するまで確実に保管するものとする。
- (2) 各チームでアルコール消毒液を準備し、手指の消毒を適宜行う。
- (3) 会場責任者は、トイレにハンドソープを準備し、こまめな手洗いを呼び掛ける。
- (4) 試合会場への行き帰りや控え場所、観客席、ベンチ内では、マスクを着用する。マスクを取る場合は、他人との距離を取るようにする。
- (5) 飲料水やタオル等の共用はしない。
- (6) 座席の間隔を空ける等、ベンチの配置について十分に配慮する。また、ハイタッチ、握手、抱擁、円陣等は行わない。
- (7) ミーティングや控え場所での待機、応援の際には、社会的距離（最低1m、できれば2m）を確保する。また、食事の際は、できるだけ向かい合わないようにする。
- (8) 大声を上げる応援は避ける。

- (9) 大会参加後に、感染が疑われる症状が出た者、あるいは感染者と濃厚接触の可能性のある者がいた場合は、速やかに大会事務局に報告する。

16 その他

- I チームに帯同する審判員による相互審判を原則とする。決勝トーナメントにおいては、審判員は審判証を提示し、大会本部の承認を得るものとする。
- II 試合中の負傷やその他の事故等については、チーム又は保護者の責任で処置するものとする。なお、負傷防止のため、取り替えスタッド式シューズを禁止し、すね当ての着用を義務づける。
- III 予選グループステージ及び決勝トーナメントでは、試合前に写真を貼付した選手証の提示を義務づける。タブレット端末、もしくは選手登録を証明するページをプリントアウトしたもので可とする。ただし、鮮明な写真が添付され、選手本人との確認ができるものとする。
- IV 本大会優勝チーム・選手は、JFA 第 46 回全日本 U-12 サッカー選手権大会決勝大会への出場権を得る。
- V チームは試合会場に全選手分の正・副 2 組のユニフォーム(明確に識別できるもの)を携行しなければならない。シャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に識別できるものでなければならない。GK のユニフォームについては、ショーツ、ソックスは FP と同系色で良いものとする。アンダーシャツおよびアンダーショーツ、タイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、大会本部が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。ソックスにテープやその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。FP が GK に交代する場合は、同一背番号の GK ユニフォームを準備しておかなければならない。GK が FP に交代する場合も同様とする。PK 戦で FP が GK に交代する場合は、上衣のみの着替えで試合を行うことを認める。(FP のサブユニフォームでも可) 但し、GK、FP とも背番号は同一のものでなければならない。(負傷等の緊急時はその限りでない。)
- VI ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき認められる。但し、本大会の協賛・協力関係と類似したスポンサー広告は禁止とする。決勝トーナメントにおいては、日本サッカー協会への登録を証明する書類を提示し、大会本部の承認を得るものとする。日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属するクラブの下部組織にあたるチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォームを使用することができる。
- VII 参加申し込み提出後に選手の変更等があった場合は、速やかにその旨を事務局に連絡し、申込書の差し替えをする。予選グループステージが始まってからの変更は、原則として認めない。
- VIII 大会を通じて、著しい反則や不正な行為があった場合、大会規律委員会(県規律委員長、第 4 種規律委員長・副委員長、事業委員長、審判委員長等)で協議し、処分を決定する。
- IX その他必要となる事項がある場合は、監督会議において協議する。